

みんなのスペース

◆宛先・問い合わせ

〒028-1392(住所不要)山田町
役場総務課文書・広報係(☎82-
3111内線416/メール:info@tow
n.iwate-yamada.lg.jp)へどうぞ。

やまだ文芸広場

「我が姉様」

九十三歳

豊饒たるや

その姿に我

負けそうなり

小林 りつ子

年の瀬に

タクシー会社のカレンダー

なんだか嬉しい一人暮らし

トトミ

新年や

子孫と祝う

無礼講

下坂 アキ子

年初め災害続き胸痛み

被災者の無事祈るばかりなり

尾形 良子

新しき年の初めに降る雪は

寒くこそあれ豊のしるしなり

内館 洋一

数センチぴよんと跳ねて得意顔

幼の大大ジャンプが決まる

いっちゃん

クリスマスの思い出

師走に入った。
我が家では、十一月の声を聞く
とクリスマスの
スタンバイ。そ



れは、昭和二十四年の頃の中
学時代、音楽の先生が教壇の
わきにクリスマスツリーを飾り、
はじめて見た。一、二年生
に三年生は六人。はじめて
歌った。「きよしこの夜」楽
しく歌った十五歳の生徒時代
を思い出しています。

どうしているかな。忘れら
れない恩師にありがとう。

菊地 サカエ

「能登半島地震から考えたこと」

今年の1月1日に北陸地方で大きな
地震、津波、火災などによる被害が出
ました。まさか元日に地震が起こるとは
思ってもいませんでした。被災地では
避難所生活による疲れやストレス、病
気やケガの悪化で亡くなる災害関連死
や感染症など問題はたくさんあります。
東日本大震災を経験し、避難所や仮設
住宅で暮らしたこともあり、ニュース
や新聞を見て人ごとではなく、心が痛
みました。今年の3月で東日本大震災
から13年になります。1日も早く北陸、
被災地の復興、再建を願うとともに、
自分自身の災害の備えをしっかりと考
えなければならぬと思いました。募金
などできることをやっていたいと思
います。

小林 秀人

わたしの一枚



山崎 静代

町長室から

阪神淡路大震災から29年
私たちが経験した東日本大
震災から13年が経過し、新
たな気持ちで新年を迎えた
元旦の午後4時過ぎ、能登
半島地震が発生した。一家
団らんの時間を過ごそうと
したその時、震度7の大地
震が一瞬にして住民を奈落
の底に突き落とすことにな
った。亡くなられた人のご
冥福と、被害に遭われた人
に心よりお見舞いを申し上げ
ます。今回の特徴はほと
んどの道路が寸断され、地
震が今も続いているという
ことである。どのようなお
気持ちで過ごされているの
かと思うと心が痛む。1日
も早く地震が収まればと願
わずにはいられない。大震
災を経験した当町から建物
調査の職員を能登町に派遣
し、少しでもお役に立てば
と考えている。能登地方は
これから雪が降り寒さが厳
しくなると思いますが、特
にもご高齢の人や持病をお
持ちの人に温かい春が訪れ
ることを祈念いたします。

山田町長 佐藤 信逸